

県内の市町村における取組例

市町村	主な取組
川越市	<ul style="list-style-type: none"> ・県内で唯一の「地球温暖化対策条例」を平成19年12月に制定。 ・温暖化対策の専担グループを置き、1%節電プラス1運動、エコチャレンジファミリー・エコチャレンジスクール・エコチャレンジイベント認定事業等を実施。 ・太陽光発電システムの普及に力を入れている。
熊谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・「あつさはればれ熊谷流 冷ませ！熊谷 事業」と称し、市民活動、壁面緑化、冷却ミスト装置設置等の事業を展開。 ・実行委員会方式により、「人と地球にやさしい街づくりプロジェクト」を実施、国道17号を中心とした市街地の幹線道路で、国・県とともに自転車道設置の社会実験などを行っている。 ・実行委員会方式により、「深夜化するライフスタイル・ビジネススタイルの見直しに関する社会実験」(埼玉県)を実施。
川口市	<ul style="list-style-type: none"> ・エコライフDAY発祥の地。6月14日に実施した「エコライフDAY2009」には72,169人(全人口の約15%)が参加(対前年比2,590人増) ・専担の地球高温化対策係を設け、様々な環境学習を行っている。また、レジ袋の有料化を市内店舗の協力を得て行っている。 ・「都市農地」の保全を目指し、市長が呼び掛けて10月に初めて都内で「都市農業サミット」を開催、農地保全への自治体の連携を訴えた。 ・環境モデル都市に応募。
秩父市	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマス熱エネルギー利用による環境学習推進事業(ハウス熱供給設備設置、クロレラ培養池設置等)を実施 ・太陽光やバイオマスなどの地域エネルギーの利用や普及に努め、バイオマス発電や使用済みてんぷら油からBDFを製造
東松山市	<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体と市が協働で取り組んでいる環境まちづくりに関する情報誌「風の根通信」を発行し情報発信(全戸配布)。 ・「環境まちづくり宣言」を宣言するとともに、地域一丸となって省エネルギーを推進し、温暖化防止に対する役割と責任を確実に果たしていくための共通目標として、平成18年2月に「省エネルギービジョン」を策定 ・環境首都コンテストに継続的に参加、今年度の関東地区交流会を共催(会場市)。環境モデル都市に応募。 ・「ストップ温暖化 冷やせ！彩の国コンクール」に応募、優秀賞を受賞。
草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭でできる温暖化対策としては、2006(平成18)年から「草加わが家の環境宣言」エコライフを提案し、環境フェア、出前講座などで情報提供や啓発を行っている。 ・2008年7月7日、市民からの発意で市内一斉のライトダウンキャンペーンが実施され、大きな成果を上げている(2009年も実施)。 ・実行委員会方式により、「深夜化するライフスタイル・ビジネススタイルの見直しに関する社会実験」(埼玉県)を実施。
戸田市	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策を推進するため、市民、事業者、市の責務などを定めた「地球温暖化対策条例」を12月定例市議会に提案する(川越市に次いで2番目)。 ・家庭から集めた生ごみをたい肥化し育てた花と交換する事業や、かつて多様な生物の生息エリアだった戸田ヶ原の再生に取り組んでいる。 ・環境モデル都市に応募。

市町村	主な取組
和光市	<ul style="list-style-type: none"> ・「和光市環境基本条例」の制定や「和光市環境基本計画」「和光市地域新エネルギービジョン」等を策定。 ・平成19年4月策定の「第二次和光市地球温暖化防止実行計画～和光エコスタイルでいこう!」に基づき、“まず減らす”、“効率的に利用する”、“環境に投資する”という視点でチェックシートを作成するなど、独自の環境マネジメントシステムを推進し、温室効果ガスの排出削減に努めている。
新座市	<ul style="list-style-type: none"> ・12月6日(日)をエコライフデーと定めて参加を呼び掛け、全市を挙げて「エコライフDAY」に取り組んでいる。 ・地球温暖化対策地域推進計画を策定し、市内小中学校等での壁面緑化、打ち水大作戦等を実施 ・市民の環境に対する意識の更なる高揚と市内環境保全団体のネットワーク形成の推進を図るため、「新座市環境フェスティバル」を開催
北本市	<ul style="list-style-type: none"> ・第5期自主参加型国内排出量取引制度に、自治体として全国で初めて参加 ・H21.10月から、新たな公共交通である「デマンドバス」のテスト運行を実施。来年度以降の運行に向けた改善方策の検討を行う。 ・環境モデル都市に応募。
騎西町	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に優しい循環型の社会をつくることを目指し、すべての町民、事業者、町の各主体の参加と協働により、「環境の町」づくりを宣言。 ・町役場が率先して環境にやさしい取組を進めるため、「きさいエコオフィス行動計画」を策定し、実績値を公表 ・低炭素社会対応型防犯灯整備事業(町管理防犯等のLED化＝約7割完了)、壁面緑化による「役場産ゴーヤ」の無料配布等を実施 ・県環境科学国際センターを誘致、再生可能エネルギーを活用した「種足ふれあいの森」を設置